

地域のご要望にこたえて ② 函館YWCAとの連携

北海道教育大学函館校
准教授 奥平理

1. 連携の経緯

8月下旬に本学函館校地域協働推進センターから、「函館YWCAから地図のデジタル化を学生と連携して進めたいとの相談を受けた。」との連絡があったので、9月6日に函館YWCAを訪問して説明を受けた。函館YWCAからは、「『はこだてピースマップ』を紙媒体で発行したが、この地図をもっと若い人たちにも活用してもらうために、絵地図ソフト「Stroly無料版」によるデジタル化を検討している。また、若い人にこの地図への興味関心を喚起する意味も込めて、先生のところの学生さんと協働して作成したい。」との提案があった。そこで小生は10月からの地域政策演習Ⅱ(奥平ゼミ)で作業を開始するため、Strolyで使用する元絵地図と各種データの提供を函館YWCAに依頼した。

2. 作成までの経緯

10月に入り、後期1回目のゼミで「函館YWCAから『Strolyによる地図のデジタル化』を依頼されて、データはすでに入手済みである。」ことを伝えた。驚くことに、翌週には全員がStrolyを使いこなせるようになっていたので、2回目のゼミから入力作業を開始した。3回目の10月19日には全員で函館YWCAに出向き、YWCAの担当者から地図のデジタル化についての説明を受けた。その後は函館YWCAからの修正事項を随時修正していたが、写真については学生が自分で撮影して、それを貼り付けるなどの試みがみられるようになった。またある学生は「旧津軽要塞(函館山山頂)」の動画にリンクで飛べるようにしたいと申

し出たので、小生のYouTubeに動画をアップし、学生がリンクを使えるようにした。

3. 「はこだてピースマップデジタル版」の完成へ

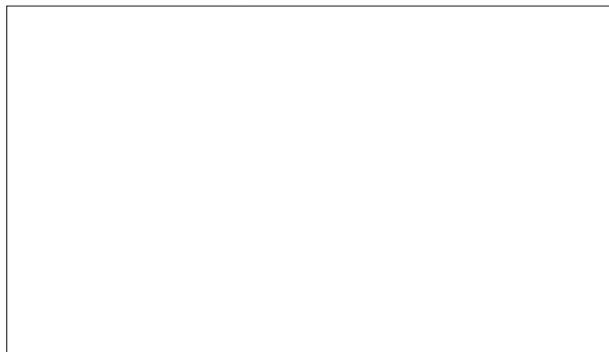
こうして12回目の12月7日には、函館YWCAで「仮完成発表会」を行うことができた。学生の迅速な仕事にはYWCAの皆様から賛辞をいただいた。そしてこの取り組みは、学生の興味関心を十分に喚起できたといえる。その後、12月21日に函館YWCAで「仮完成報告会」を行うとともに、1月18日の「完成報告会」に向けて、学生は自分の担当部分の加筆修正を行った。そして、1月18日には函館YWCAで「完成報告会」を実施した。報道各社の前で、学生たちは臆することなく、自分の担当部分を説明していた。その後、軽微な修正を経て、2月3日午前10時に一般公開された。

後期から始まったばかりの「函館YWCAとの連携」ではあったが、無事に、そして成功裏に終了することができた。これも函館YWCAの皆様や本学関係の皆様からの温かいご支援とご協力、ご指導の賜物であり、この場をお借りして、心より御礼申し上げたい。



Stroly「はこだてピースマップデジタル版」フロントページ

はこだてピースマップデジタルを手掛けた道教育大函館校の奥平ゼミと函館YWCAのメンバー



スマホ片手に戦跡巡り ピースマップ デジタル制作

YWCAと函教大ゼミ生

函館YWCAは、函館市内の戦跡を紹介する「はこだてピースマップ」デジタル版を公開した。道教育大函館校の奥平理准教授（観光学）のゼミ生が制作に協力。イラスト地図に落とし込んだ動画や写真などの情報をスマートフォンやパソコン上で見ることができ、

函館YWCAピースプランニング委員会（丸山崇泰委員長）は2017年8月にA判の地図と解説本からなる「はこだてピースマップ 観光コース」ではない「函館散歩」を発行した。太平洋戦争中の出来事を中心に

30の項目を取り上げ、1500部以上が売れた。丸山さん（65）は「ピースマップは予想を上回る反響があった。若い人たちに伝える意義を感じ、うまく発信できる方法はないかを考えた」と話す。昨年度に函館校の地域協働推進センターを通じて協力を依頼し、奥平准教授（66）の紹介を受け、ゼミの2年生7人が秋から取り組んできた。マップは、市民や観光客にもスマホ片手に気軽に利用してもらおうと地図アプリの「Stroly（ストロリー）」を活用。手書きやイラストなどの地図に位置情報を落とし込むことができる。YWCAが函館山を中心としたイラスト地図を用意。津軽要塞があった函館山や太平洋戦争末期の函館空襲（1945年7月14、15日）で被害を受けた旧駒止町周辺など16カ所の情報を載せた。学生たちが実際に現地を歩くなどして、掲載する情報を整理した。函館山の要塞を紹介する動画の撮影、編集を担当したゼミ生の酒井常行さん（20）は「函館と戦争のイメージはなかったが、こういう歴史があったと学んでもらうきっかけになれば」と話していた。関兼はストロリー（<https://stroly.com/ja/>）内で「はこだてピースマップ」で検索すれば表示される（二次元コード参照）。（今井正一）

函館新聞（令和4年2月9日12面）に掲載された記事